

## 市長と語ろう！タウンミーティング 第10回 議事録

**開催日時** 平成23年10月25日（火） 午後7時～8時30分

**開催場所** 大古山集落センター

**参加者** 市民 13人

### 《フリートーク（意見交換）》

1. 稲田川の橋を架け替えて欲しい
2. 幼稚園でも給食を実施して欲しい
3. 稲田公民館はいつ完成するのか
4. そば畑に県道から大量の雨が流れてくるので対策を講じて欲しい
5. 笠間地区にももっと予算を割いて整備を進めて欲しい
6. 稲田駅前の草刈りを要望している件について
7. グリーンパートナー制度について
8. 大古山地区で田んぼの区画整理事業を引き続きお願いしたい
9. 国道355号の完成時期はいつか、また、高速道路のインターチェンジを利用した開発予定はあるか
10. 笠間西インターチェンジへの案内標識をつけて欲しい
11. 福原本戸線はいつ開通するのか
12. 市有地を売り出す際には掲示して欲しい
13. 雇用対策について
14. 畜産試験場跡地への医学部誘致について
15. 企業進出のための排水整備等について

### 《内容》

1. 稲田川の橋を架け替えて欲しい

#### 【意見等】

稲田川の橋の一つが、低くなっていて台風のとくに水害が発生してしまう。また、今回の震災で両壁も崩れてしまっている。その橋をアーチ型にするなど、対策をとって欲しい。

#### 【回答】

稲田川については、今までいろいろな形で要望をいただいています。川底を下げると両壁が崩れる恐れがあるので、掘り下げることができません。広げることも現実的に厳しいです。水戸土木事務所にはお願いしているのですが、なかなか進まないのが現状です。今までは、全体的な改修の話を要望していましたが、一部狭くなっているところがあるので、今後は部分的な改良をお願いしてみたいと思います。県とよく話をしてみます。

2. 幼稚園でも給食を実施して欲しい

#### 【意見等1】

子どもが稲田幼稚園に通っているが、給食がないので給食を実施してもらえないか。桜川市では、幼稚園でも給食があったり、バスでの送り迎えがあったり、小学校進学時にランドセルの支給があったりするので、笠間市でももっとそういった部分に力を入れて欲しい。

#### 【回答1】

給食センターは23年度に建て替える予定で進めてきましたが、震災により、国の補助の見通しがまったく立っていませんので、23年度ではなく、24年度に建て替えを実施する方向で進めています。

給食を作ることは可能だと思いますが、配送の問題や受け入れの問題、衛生管理上の問題もありますので、検討が必要だと思います。そういった要望があるのであれば、検討していきたいと思います。

現在、共働きの家庭が増えていると思いますが、お弁当を作るのは大変なので給食があったほうがよいというお考えですか。

**【意見等 2】**

私は個人的にはあった方がいいと思う。

**【回答 2】**

私は、小学校の給食を含めて、週 1 回とかお弁当の日があった方がいいと思っています。

**【意見等 3】**

子どもたちは、お弁当が好きだと思うので、お弁当の日があってもよいと思う。週 1 回だったら、家庭の負担は少なくてすむと思う。しかし、毎日となると負担が大きい。

**【回答 3】**

稲田と笠間に公立幼稚園はありますが、バスの送迎はしていません。ランドセルの支給を含めて、子育てをどうしていくかということ部分を部分的ではなく、全体的に見ていただければと思っています。子育ては、3 年間重点施策として取り組んでいます。物だけでなく、いろいろな形で子育て支援を行っています。ただ、これだけでよいと思っていませんので、今後も子育て支援を行っていきたくと思っています。

現在、担当に近隣市町村の子育て関係の状況を調べて、笠間市との対比ができる表を作るように指示しています。それを公表して、子育てをしている世代の方々に理解していただきたいと思っています。子育てに対していろいろなご意見をいただきますが、中には笠間市は何もしていないのではないかという意見をいただきますので、市町村でどういった支援を行っているかがわかる表を公開し、理解していただきたいと思っています。

3. 稲田公民館はいつ完成するのか

**【意見等】**

稲田公民館はいつ完成するのか。来年度の敬老会は開催できるのか知りたい。

**【回答】**

9、10 月の敬老会には、間に合わないと思います。正式には、これから計画ができるので断定はできませんが、早くて 12 月だと思います。できる限り早く行っていきます。ある程度見通しがたったら、区長さんや館長さんにご報告は行っていきます。

4. そば畑に県道から大量の雨が流れてくるので対策を講じて欲しい

**【意見等】**

そばを栽培しているが、毎年大雨によって県道から水が大量に流れ込んで畑の土を削り取ってしまう。今年もせっかくまいたそばが流れてしまった。土も流れてしまうのでだんだん畑がやせてしまう。水が流れ込まないように県道の改良を 3 年前に市に要望したが、まだ対策がされていないので、早くしてほしい。

**【回答】**

現地を確認して、グレーチングを増やす等の対策をとりたいと思います。

5. 笠間地区にももっと予算を割いて整備を進めて欲しい

**【意見等】**

合併当時、笠間市全体をみて岩間地区の事業が遅れているということで、岩間地区に予算を割いて整備をしたと聞いた。友部地区もずいぶんきれいになったと思うが、次は笠間地区に予算をかけてもらいたい。

**【回答】**

それぞれの地区で自分たちの地区に対する思いが強いです。私たちはトータルで行政サービスを行っています。ただ、地区ごとの課題があり、合併時には友部地区と岩間地区で遅れていたものは幹線道路の整備でした。合併関係の協議会でも幹線道路の整備があがっていき、市としては、積極的に整備を行ってきた経緯があります。4 年が経ち、だいたい道路網の整備はされたと思います。ハード面については、3 つの地区は同等になったと思っています。ただ、観光

的なものは、笠間地区中心だったので、笠間地区への投資を大きくしていました。その地域に足りないものを引き上げることは、合併効果の一つだと思います。また、既存のものを成長させることも合併効果の一つだと思います。そういう意味では4年間の友部地区と岩間地区への公共投資は、笠間地区より上回ったというのは事実です。

今後はどうするのかということについては、4年間は友部地区と岩間地区に重点をおいたので、次は笠間地区というわけではなく、ある程度平均的になってきたので、今後は地区ごとに足りないものに公共投資をしていかなければならないと思っています。3地区のバランスは必要だと思っていますし、単年度ではなく、ある程度の期間を勘案し、バランスをとりながら進めていこうと思っています。

例えば駅についてあげると、稲田駅の橋上化はできませんが、古いので建て直したらどうかという案も出ています。稲田駅は、周辺で一番古く120年以上経っているのです、建て直すよりも古さを残していったらいいのではと、私は思っています。

稲田地区の課題については、大古山集落センター前の南北の道路と稲田富谷線の県道です。県道には主要地方道と一般県道があり、大古山集落センター前の県道と稲田富谷線は一般県道なのでなかなか国庫補助がつかまないので、県単独で行うことになり、思うように進まないのが現状です。

#### 6. 稲田駅前の草刈りを要望している件について

##### 【意見等】

稲田駅前の草刈りを市の総務課に要望し、6月と9月に行うという話だったが、行われなかった。約束は守るべきだ。市の職員は、2、3年で異動になってしまうが、それでは、無責任になってしまうと思う。5年くらいは同じ課にいた方がよいと思う。

##### 【回答】

異動に関わらず、約束は守らないといけないと思っています。よく確認をして連絡します。

#### 7. グリーンパートナー制度について

##### 【意見等】

稲田ふれあい公園は、子ども会で草取りを行っているが、今年から補助金がでるという話があった。当初9月と来年の3月に補助金3万円を振り込むという話だったが、9月の補助金がまだ振り込まれていない。

##### 【回答】

約束事は実行しないとイケないと思っています。すぐに確認します。

草刈りは地元でやっていただいています、引き続きやっていただきたいというのが、率直なお願いです。市の土地に関わることを全部、市で草刈りをするというのは現実的に不可能なので、本来は市がやるべきであっても、善意でやってくださっているところがたくさんあります。

河川清掃や草刈りについて、地域の方の高齢化が進んでしまって、難しくなってきているということが、今回の市政懇談会の各地区のテーマとなっています。これからもっと高齢化が進むわけですから、地域でできなくなった場合、最終的には行政がやらなくてはならないと思っています。したがって、今後は道路を造るよりも管理にお金がかかるとしています。予算の方向転換が必要だと考えています。

#### 8. 大古山地区で田んぼの区画整理事業を引き続きお願いしたい

##### 【意見等】

大古山地区で田んぼの区画整理事業をお願いしているが、引き続きお願いしたい。

##### 【回答】

土地改良事業については、一人の方について後見人の方と話し合いをして調整していたのですが、今日、本人が賛同するとの連絡が入りました。100%同意ということになりましたので、地元の意向に沿って24年度の事業採択が受けられるように市で進めていきたいと思っています。地元負担につきましては、市の内部で協議して対応していきたいと思っています。

9. 国道 355 号の完成時期はいつか、また、高速道路のインターチェンジを利用した開発予定はあるか

**【意見等】**

国道 355 号はどれくらいで完成するのか。

高速道路のインターチェンジがいくつかあるが、インターチェンジを活用して、市が活気付くような開発をする予定などはあるか。

**【回答】**

国道 355 号については、石井から南に下って来栖の丁字路で、水戸線をまたぐ高架上部の工事を行っています。それができあがると、涸沼川にぶつかる手前に来栖の大きなハウスがありますが、そこまでは 24 年度中に開通する予定で、県で進めています。それから先は、涸沼川を渡り下市毛の駅南を通して、もう一度水戸線をまたいで手越に出ますので、10 年は最低でもかかると思います。この計画ができたのは平成 2 年です。21 年経って現在の状況です。それと合わせて石井地区の神社脇の交差点改良を進めるべく、用地買収をしています。県に国道 355 号の早期完成を要望しており、県でも積極的に予算をつけてくれています。

それと笠間西インターチェンジについては、以前インターチェンジを設置してもらうため、国に要望を出した頃には、周辺に工業団地を造るなどの構想を描いて誘致をしたということがあります。ただ、時代が変わり現在の社会情勢を鑑みると、工業団地などへの投資をしていくことには、リスクが高すぎる社会状況だと思っています。茨城西インターチェンジなどは、インターチェンジの周辺につくるというよりも、工業団地の真ん中にインターチェンジを造ったにも関わらず、なかなかうまくいかないという状況です。それでは、工業団地開発のほかには何かあるのかといっても、開発については厳しいのではないかと思います。

ただ、北関東道が全線開通し、交通量が増えていますし、陶炎祭や B 級グルメサミットなどのイベントには、北関東道を使って相当の観光客が来ていますので、観光面などにおいて大きなプラス効果となっています。市では、周辺のイベント広場を活用して笠間の PR とか笠間の物産の販売などに力を入れていくべきだと思っています。

10. 笠間西インターチェンジへの案内標識をつけて欲しい

**【意見等】**

稲田中学校の前の福原へ向かうところに、笠間西インターチェンジへの案内標識があるとよいと思う。案内標識はどこでつけるのか。

**【回答】**

市の管理ですので、市で発注して設置するようになります。今後、検討したいと思っています。

11. 福原本戸線はいつ開通するのか

**【意見等】**

福原本戸線はいつ開通するのか。

**【回答】**

24 年度に土地改良事業が採択されて、その後、工事に入っていく中で、道路の整備も同時並行で行っていくことになると思います。それから大古山地区を抜けて、来栖の方は用地買収が終わっていますので、それほど時間はかからないと思います。そして国道 355 号につないで開通できると思います。それができると、国道 50 号を回らずに行けますので、利便性は高まると思います。

12. 市有地を売り出す際には掲示して欲しい

**【意見等】**

市有地を売り出す時には、分かりやすく掲示したらどうか。

**【回答】**

市の土地を売り出す際には、ホームページ等で掲載しています。評価額で売り出すので、少し

高くなってしまいます。だからといって、安く売るわけにはいかないのが現状です。友部の駅前にあるような一等地については、市が一定の期間保有していく財産として必要な場合もあります。しかし、市がある程度の土地を持っていても、その土地に投資をするということは、ほとんどありませんので、処分をしていこうと思っています。

### 13. 雇用対策について

#### 【意見等】

地元での雇用が少なく、就職できない人が増えている。それについてどう考えているか。

#### 【回答】

総合計画後期基本計画を策定するため、アンケート調査などを行いました。他市町村と比べて観光は優れている部分がたくさんあります。しかし、雇用や企業活動は、他の市町村より数値が低くなっています。

例えば、すぐに企業誘致できる土地は、市の所有する土地の中にはありません。県が所有する土地であれば、茨城中央工業団地笠間地区に約 100 ヘクタールあります。市が今から工業団地をつくって誘致するという事はリスクが高いと思います。それよりは、既存の工業団地に市が県と協力して誘致を図った方がよいと思っています。

### 14. 畜産試験場跡地への医学部誘致について

#### 【意見等】

畜産試験場跡地への医学部の誘致はどうなっているのか。

#### 【回答】

新聞に掲載されましたが、現実的にはまったくの白紙の状態です。ただ、そういった動きがあるのは事実です。一番の障害は、国が新たな大学の医学部の設置を認めていないということです。したがって、国の方針転換がなければ、医学部の新設はできないということです。しかし、見直しの動きもありますので、早稲田に限らず、いくつかの大学で国と医学部の設置についてやりとりがあるようです。

畜産試験場跡地は、県の土地ですので、県がどう考えるかということが第一です。県が積極的になれば、市は全力をあげて取り組んでいきたいと思っています。

### 15. 企業進出のための排水整備等について

#### 【意見等】

笠間市の土地は安いので、駅近くの農用地に企業が進出できるようにしたらよいのではないか。また、岩間の工業団地は、排水が良くないので排水の整備をすれば企業が進出しやすいのではないか。企業が進出しやすいように整備してほしい。

#### 【回答】

笠間地区は工業団地を誘致するには、条件が悪いのではないかと思います。笠間市全体で考えると、既存の工業団地を生かした方がよいと思っています。